

事務事業名	55873 地方創生推進事業											
担当組織	企画財政部				共創企画課				担当	公民連携・SDGs推進担当		
組織コード	06	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	01	02	01	07	01	07	記入日	令和 8年 2月18日

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標・考え方	07	活力にあふれ人が集い心ふれあうまち						再掲施策				● 対象
施策	31	地域資源を活用した観光振興の推進										○ 対象外
事業期間	令和8年度～令和9年度											
根拠法令 通達等					関連計画 施政方針	地域再生計画						
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの											
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：											
総合戦略	■ 施策番号：											
対象	市民・市外からの来訪者											
事業目的	地域資源である県営戸田公園及び戸田漕艇場（ポートコース）を有効活用することにより、本市の強みでもある「ポート」を起点とした、「ポートのまち戸田」の都市ブランドを確立し、賑わいの創出や地域活性化を図る。											
事業内容	「ポートのまち戸田」のブランド確立に向け、ポートのまちづくりコンソーシアムをはじめ、地域の様々な主体の意見を集約し、民間事業者のノウハウを活用しながら、本市の魅力発信について話題性のある企画や効果的な広告媒体を活用した、エンターテインメント性のあるプロモーションを実施する。また、プロモーションの効果を形にするため、県営戸田公園やポートコースのほか、公園事務所などとも連携して市内だけでなく、市外からの来訪も生み出せる魅力的な取組を実施する。											
実施主体	■ 市による単独直営      ■ 委託（□ 3セク・財団      ■ 企業      □ 市民・NPO）      ■ 協働・協力（      ）											
行財政改革 の取り組み												

2. 事務事業の計画 <DO>

(1) 投入資源（予算と人員）				
		令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）
主な事業内容		ブランディング業務委託（現状調査、ワークショップ実施、ブランドツール制作、プロモーション戦略策定等）	ブランディング業務委託（フィールドプロモーション、PR動画制作、インフルエンサー活用業務、広告運營業務等）	令和9年度で終了
事業費		9,405	12,980	0
財源内訳	国庫支出金	4,702	6,490	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,703	6,490	0
人件費		3,570	3,570	0
投入 人員	常勤職員	0.5人	0.5人	0人
	非常勤職員	0人	0人	0人
事業費+人件費		12,975	16,550	0

(2) 事業目標									
指標名		説明・算定式	単位	令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	令和6年度 目標値	令和7年度 目標値	
目標達成状況	事務事業活動①	意見集約回数（ワークショップ、アンケート）	実施回数	回					
	事務事業活動②	街が賑わっていると感じる市民の割合	市民意識調査結果	%					

## 3. 事前評価

&lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	<p>A：施策の目標達成に大いに貢献している。</p> <p>&lt;判断理由&gt; これまで活用が進んでいなかった地域資源を対象としており、実施による効果は本市策だけでなく他の施策へも波及することから貢献度は高いものである。</p>
経費水準	事業費・人件費の水準は適正か。
	<p>B：経費は適正な範囲である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 必要な取り組みについて経費を計上しているほか、市の人件費も過剰ではないため。</p>
事業手法	事業手法は適正か。
	<p>A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 市単独での実施は難しいことから、民間事業者のノウハウを活用して実施するものである。また、これまで活用が進んでいなかった地域資源を県と連携して取り組むことから、相乗効果が期待できるため。</p>
受益・負担の公平性	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	<p>A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。</p> <p>&lt;判断理由&gt; 国庫補助事業として市の財政負担を最大限軽減できる形であるため。また、ハード面については、県により整備費用を負担するため。</p>

## 4. 事業実施理由・留意点

&lt;ACTION&gt;

事業実施理由	県営戸田公園及びポートコースについては、県内有数の貴重な地域資源であるにも関わらず、ポート関係者以外の来訪者が少なく、地域資源としての魅力を効果的に打ち出せていなかった。今回、県と連携して取り組む機会を得たことから、公園施設やポートコースの魅力を効果的に引き出すことで、市内外からの来訪を呼び込み、公園に賑わいを生み出すことで、「ポートのまち戸田」としてのブランドの確立を実現させるため。
事業実施における留意点	

## 5. 企画財政部コメント

事業実施におけるコメント	
--------------	--